

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視 点	4 年間の目標 (令和6年度策定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①「正解が一つではない問い」を重視した授業を積極的に展開することで、生徒が自ら課題を発見し、解決する力や思考力・判断力・表現力等を育み探究する力の育成を目指した授業改善を行う。 ②時代や社会の変化に柔軟に対応でき、未来を考えられる資質・能力の育成のための教育課程の編成に取り組む。	①3年経過した現教育課程を振り返り、生徒の主体的な学びが実現していくよう、教科等横断的・探究的な学びを意識した授業改善に取り組む。 ②令和8年度入学生から変更する教育課程について、その実施に向け、趣旨を職員全体で共有し、生徒の資質・能力育成のための内容の充実を図る。	①研究授業・研究協議会の実施や、教職員同士の授業見学を促進し、協議・見学内容等を職員で共有し、職員全体が組織的に授業改善を行っていく意識を高める。 ②新教育課程がより充実したものとなるよう、現教育課程の振り返りを行うとともに、職員全体でその趣旨を共有し、必要な見直しを行う。選択科目や定期試験、学習評価等に関する議論を様々な機会で設ける。	①生徒による授業評価アンケートの結果が改善されたか。職員へのアンケートを行い、教科等横断的・探究的な学びを実現する授業の増加が確認できたか。 ②教科会やグループ会議等の機会を通じて新教育課程の趣旨を共有する機会を設けることができたか。新教育課程に対応した生徒の科目選択の方法等、具体的な運用方法を構築できたか。					
2	(幼 児 ・ 児 童 ・) 生 徒 指 導 ・ 支 援	①生徒の主体性や創造力を育むべく「生徒の自治」を支援し、生徒主体の学校行事や生徒会活動で培った力を学校生活や学習活動に生かせる生徒集団を育成する。 ②部活動の活性化を図り、安全面に配慮した活動や他者に対する思いやりのある行動ができる力を育成する。 ③健康や安全に関する学習活動や支援を通じ、生徒がお互いの個性・特性を尊重することで、安心して学校生活を送れる環境を整える。	①生徒が主体的に取り組む学校行事や生徒会活動で培った能力を学校生活や学習活動に生かせる生徒集団を育成し、「生徒の自治」を支援する。 ②学校生活を安全に安心して過ごせるように環境を整備し、部活動が活性化するような基盤を整える。 ③健康や安全に関する学習活動や支援を充実させ、お互いに尊重し合える関係性を作り、安心して学校生活を送れるよう努める。	①時代に合ったバランスの取れた学校行事の運営を目指し、生徒会活動を通して生徒の主体性・創造力が育まれるように検討する。 ②顧問総会や生徒の部長会で安全対策や部室使用についての啓発を行い、重大事故発生防止に努める。 ③1年次に講演会を行い、登下校時の交通安全、SNSや薬物等への知識、性教育等の充実を図る。教育相談の体制を整え、サポートの必要な生徒に適切な対応ができるように努める。	①各行事のねらいを理解して、生徒が活動することができたか。 グループと学年が共通理解を持って、リーダー育成の支援ができたか。 ②安全対策を理解し、生徒自身が部活動の運営や地域貢献ができる環境の整備ができたか。 ③講演会の振り返り、SC・SSW等の報告・学年の情報共有を充実することができたか。					

	視 点	4 年間の目標 (令和6年度策定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①自己の高みを目指した目標設定及びその実現への支援を図る。 ②教育情勢を的確に把握し、適切な情報の収集と周知、共有に努めるとともに、組織的な支援体制を構築する。	① 生徒の自己肯定感と学力を高め、「高み」をめざす意識の醸成につなげる。 ② 本校の進路支援の在り方を明確にし、共通理解を得るとともに、実現に向けた取り組みを構築する。	① 生徒向けガイダンスについて、意識の強化と同時により多くの受験への知識情報を提供しよう内容を精選する。あわせて、校内の自習環境を整備する。 ② 進路支援につながる学習支援の観点から、3年間の指導の目標設定に利する研修会や講演会を企画する。	① 進路希望や学習習慣に向上の変化が見られるか。自習室の利用が増加したか。 ② 実効性のある研修会等を実施し、組織的に進路指導・学習指導を行う体制が整ったか。					
4	地域等との協働	①生徒に地域の一員であるという意識を持たせ地域等と協働・交流を行うことで、広い視野を持って何事にも取り組んでいける生徒を育成し、信頼される学校づくりを行う。 ②「いのちを守る」ために主体的に行動する態度の育成を目指した防災教育を実践する。	①会話を通し、相互理解を深め、学校が地域に守られていることを理解する。 ②日常の学校生活の中で機会を捉えて防災について考えさせ、臨機応変に対応する必要性を認識させる。	①地域の防災訓練へ参加することや、橘華祭での地域の方々との交流をすることで、地域に根付いた学校であることを実感する。 ②火災を想定した避難訓練を実施し、教職員及び生徒が、最も適した経路を考え、「いのちを守る」避難をすることを意識する。	①防災訓練で、地域の方々と協力できたか。橘華祭で、活発に挨拶ができたか。 ②避難するまでの経路及び所要時間は妥当であったか。					
5	学校管理 学校運営	①施設、設備等の管理を徹底し、生徒の学習環境をより向上させる。 ②学校全体で校内美化に取り組み、生徒自身に環境整備に参画する意識を持たせる。	①学校目標の「自主自立」を身に付けさせる。 ①広報活動を見直し、情報発信の対象と目的を意識し、本校への理解を深めてもらうための対策を講じる。 ②美化活動、広報活動等を通し、生徒が自主自立の精神を持って学校活動に参画する意識を持たせる。 ③働き方改革の推進を図る。	①「自主自立」を育むため、生徒に活動の意味を考えさせる。 ①中学生及びその保護者に本校の魅力が伝わるように広報活動を見直し、学校案内や紹介スライド等の仕様を変更する。 ②清掃の取り組み方を職員全体で考え、美化意識を高めていく。また、ごみの分別は、掲示物の配布や声掛けを徹底する。 ③働き方改革に向けた業務の精選を図る。	①「自主自立」を身に付けることができたか。 ①魅力が伝わる広報活動が活発になり、学校説明会において、生徒による説明が効果的にできたか。また、興味を引く印刷物等を作成できたか。 ②校内美化のための美化意識を高められたか。またごみの分別の掲示物配付や声掛けが徹底できたか。 ③働き方改革に向けた業務の精選を図れたか。					